



町のおもな統計 (26)

40年国調、45年6月住登、人口及世帯数比較 単位人

	男		女		計		世帯数	
	40年	45年 6月	40年	45年 6月	40年	45年 6月	40年	45年 6月
五城目	3,855	4,200	4,269	4,396	8,124	8,596	1,864	1,921
馬場目	1,574	1,463	1,492	1,417	3,066	2,880	544	521
富津内	1,184	1,179	1,314	1,249	2,498	2,428	469	458
内川	923	902	974	1,015	1,897	1,917	380	384
大川	1,064	1,065	1,116	1,124	2,180	2,189	391	419
面潟	522	572	575	608	1,097	1,180	212	227
合計	9,122	9,381	9,740	9,809	18,862	19,190	3,860	3,929

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
 電話 (018876) 代 2100番
 印刷所 湖東印刷所 電話 (018876) 2430番 (一部5円)
 毎月1日・15日発行 郵便番号 018-17

・秋田県五城目町・

※町政と町民をむすぶ広報紙



一番町川原で水防訓練 曇天のもと川倉工法にとりくむ消防人

7月21日一番町の川原で秋田県水防連中央支部の水防工法講習会が行なわれた。当日は本町をはじめ井川村、河辺町、雄和村が参加 150人の消防人がむしろあみ、土俵積み、木流し、川倉工法などを学習した。

8月のおもな行事

- 1日 夏の交通安全運動(～10日)
- 2日 夏季防犯運動(～20日)
- 3日 子供会リーダー講習会戸賀(～4日)
- 4日 町内会長会 後1.30 鯉クラブ
- 5日 あく土開説明会 後2.00 公民館
- 6日 昭辰橋竣工式 前10.00
- 10日 交換会ポスター原図中央会・国鉄と協議 後1.30 役場
- 12日 農業委員会総会 前10.00 役場
- 18日 内川地区納税組合長会議 後1.00 五城目町農協内川支所
- 19日 大川地区納税組合長会議 後1.00 大川出張所

おもな内容

- 2面 議長菊地氏、副議長畠山氏に成人のつどい五小で
- 3面 交通安全推進員に77人を委嘱カメラ・ルポ
- 4面 十年年金継続の加入は早目に農事メモ
- 5面 種苗交換会をきれいな町で農道を整理して車で田圃へ
- 6面 五城目町の100年 8日9日日本町で全県青年祭

「世代の断絶」という言葉がよく使われるが毎週日曜日の朝「十代」ともに」というNHKの番組があるが、これに登場する主人公は勤労青少年あり学生あり多種多様の発言がでてくる。

この前農業後継者を目指す学生達が「百姓」という言葉に対して抵抗を感じないかといわれるようにいと異口同音に発言している。

過去の「水呑百姓」「土百姓」という何となく貧しいイメージを吹き飛ばして、今年米の生産調整といういわゆる減反が行われたが予想以上に多いという。

今、田圃のあちこちには草ぼうぼうと荒廃した田が目につくが、減反された田は荒廃してはならない。農民の心の荒廃を招いてはならない。米価は昨年に引続き今年も据置かれたが、米価審議会は生産者と消費者の意見の衝突の場のような感を与え、ある婦人委員の会議場外の発言ではあったが物議をかもした一コマもあった。

米過剰をめぐる問題は深刻であり農業の体質改善を求められており、減反もやむを得ないだろうが何時の日か生産者も消費者も豊作でよかったとお互に喜び合える日にくることを願いたいものである。「百姓」の後継者を目指して大いなる希望を抱く若人のためにも。

管財課長 石井孫一

喜び合える農業に



町議会第四回臨時会

正副議長を改選

議長に菊地氏・副議長に畠山氏



菊地議長



畠山副議長

町議会第四回臨時会は七月二十七日召集され、会期を二日間に決めたあと議長、副議長の改選を行ない議長に菊地耕二氏(四七)、副議長に畠山豊氏(五二)をそれぞれ選んだ。

また、今臨時会では工事請負契約の締結について三案件(川向橋災害復旧工事、広ヶ野橋整備改良工事、下部工事、土部工事の二件)それに人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることには、佐藤勝太郎氏(下夕町六〇一)、整骨業、64才、斎藤周作氏(門前、農業、67才)、小野文字子氏(浦横町、農業、66才)の推せんに同意した。

▽菊地耕二議長の略歴
議長一期目。町議五期目。決算

特別委員長を歴任。町青少年保護、▽畠山豊副議長の略歴
育成委員会副会長。司法保護司の菊地酒造取締役。秋田山産業有限会社代表取締役。明治山法字部卒
向川原一〇七。四十七才。

副議長一期目。旧富津内村議二期。総務常任副委員長。文教社会常任委員長を歴任。五城目森林組合理事。農業。旧制能代工業卒。富津内字落合。五十二才。

わかもの意見
はたちの感想文募集

こと新しく成人になられる方の意見や、感想を次のような要領で募集します。ふるってご応募くださるようお願いいたします。

一、課題：どんな課題でも結構です。もちろん建設的な内容のものであること。
二、応募要領
三、応募締切り：昭和四十五年八月二日から昭和二十六年四月一日までに生れた方。

二、応募字数：四〇〇字詰原稿用紙で五枚以内、一人一編
三、応募締切り：昭和四十五年八月二日から昭和二十六年四月一日までに生れた方。

二、応募字数：四〇〇字詰原稿用紙で五枚以内、一人一編
三、応募締切り：昭和四十五年八月二日から昭和二十六年四月一日までに生れた方。

八月十五日

新成人のつどい(成人式)

五城目小学校で開く

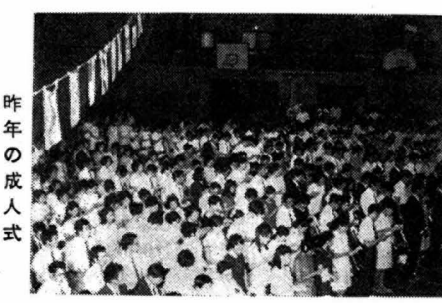
こと新しく成人になる方々の門出を祝う「新成人のつどい」(成人式)は八月十五日に開かれることになりました。

このつどいを通じて、同世代のわかもの迷帯感をつよめ、新しい時代の担い手となることが期待されます。

新成人への案内はまず二町内部落会の町政協力員を通じて該当者

新成人のつどいの実施要項は次のとおりです。

▼新成人対象者 昭和二十五年四月



当日は時間をおくれぬようにお願いください。

月十日
四、応募先：五城目町公民館
五、応募作品の掲載：町広報や新聞にのせませう。

スポーツ少年団育成
功績に熊谷さん表彰

秋田県スポーツ少年団本部ではスポーツ少年団の振興発展に功績のあった個人二人、団体三団体を表彰することになりましたが、本町の熊谷直さんが表彰することにりました。

熊谷さんは二十七年から少年剣道の普及育成にあたり数多くの有段者を出したほか、スポーツ少年団の結成に力をつくし、みずからシナイをもつて指導にあたっております。

略歴はつぎのとおりです。
行政書士、六十八才、剣道教士
七段、県剣道連盟理事、町スポーツ少年団副本部長

たばこは町内から
買いましょう

水道課からおねがい

広ヶ野橋架替工事に伴ない水道管の布設替えを行ないましたが、これは仮工事で、今後事故が発生して断水しなければならぬ事態も考えられますので七月三十日から十月二十五日広ヶ野橋竣工までの間ご迷惑でも常に水を貯えておくようお願いいたします。
なお、この度の断水について、深くお詫びいたします。

カメラ・ルポ

農村婦人リーダー講習会



熱心に講習をうけるリーダーのみなさん

7月8日役場第一会議室で、農村婦人健康生活推進部落リーダーが65人出席。今村五城目保健所長をはじめ、秋大・茂泉陽子先生から講義をうけた。今後の活躍が期待されている。

明るく正しい選挙を



明るい選挙をと学習会

7月10日富津内児童館で明るく正しい選挙の話し合いが30人(婦人会、若妻会、青年会)出席して行なわれ明るい選挙推進を誓いあった。

工事は七月十日からはじまっているが完成は十月二十五日となっている。交通の便は人と自転車がとおれる仮橋がもうけられ足を確保している。

下部工事の入札には京野正二、長谷川次郎、坂谷晴二、畠山喜美雄、齋藤政郎、佐々木茂夫、小林政則の各氏が参加、小林政則氏に一、四一五万円で落札した。上部工事の入札には日本鋼管(株)、三井造船(株)、川崎電機工業(株)が参加、川崎電機工業株式会社(東京都)に一、三三七万円で落札した。

「あきた」の購読を

秋田県広報協会では、総合雑誌「あきた」を発行しております。

県政をはじめ産業経済、生活、文化歴史など、あらゆる面にわたってやさしく報道解説しています。一冊五〇円、一年分送料とも六〇〇円 申し込みは総務課へ

交通安全推進員に

七十七人を委嘱

五城目町交通安全対策協議会では七月十五日午後一時三十分から役場第一会議室で交通安全推進員を対象に研修会を催した。

当日は交通安全推進員の任期満了に伴ない、新たに町長からの委嘱状伝達、このあと推進員としての性格、役割などについて五城目警察署長伊勢忠治氏を講師に迎え学習した。

また、「交通安全確保のため推進員の活動はどうかあればよいか」について話しあい、今後町内の部落をはじめ各種機関、団体との協力体制をととのえ交通事故防止につとめることにした。

交通安全推進員はつぎのかたが

たです。

- 須田富子(田町) 千葉正(田町)
- 小浜寅雄(今町) 小林美(小池町)
- 小玉知郎(御蔵町) 安東晃子(川原町)
- 北嶋格一(新町) 本間カツエ(昭辰町) 柳原繁(一番町) 佐藤友治(古川町) 渡辺誠之助
- 高橋正治(今村久栄町) 渡辺誠之助
- (長町) 今村久(米沢町) 渡辺悦郎(築地町) 荒川要悦(築地町)
- 貝田金市(畑町) 伊藤浩司(畑町)
- 小森亨子(仲町) 嶋崎正三(新畑町)
- 貝田金一(新畑町) 中村成人(雀籠) 伊藤義美(希望ヶ丘)
- 門間春二(中川原) 久保市久之助(広ヶ野) 本間与四郎(館町)
- 千田富治(岩城町) 本間藤吉(矢

- 場崎) 館岡春男(上高崎) 館岡広司(高崎) 館岡春二(下高崎) 本間敬三(館越) 一関初子(久保)
- 猿田明雄(上樋口上) 猿田日出雄(上樋口下) 猿田俊雄(樋口) 近江弘(野田) 千田峯夫(岡本) 畠山鉄雄(岡本) 小野政雄(浦横町)
- 草皆定雄(帝釈寺) 栗山充(町村) 斎藤明(門前) 宮城タカ(窪内町)
- 石井勇藏(小野台) 金野勇(平ノ下) 石井悦郎(寺庭) 佐藤幸(中村) 川島タツ(水沢) 佐々木ユキ(忍地) 佐々木勝之助(忍地)
- 石川巖(佐沢) 金沢周治(合地) 千葉茂(下山内) 畠山長之助(上

- 山内) 石井良治(富田) 阿部タミエ(富田) 伊藤確治(八田) 小玉恵一(台) 伊藤耕一郎(陽乙)
- 伊藤多右工門(落合) 上杉ヒロ子(高千) 伊藤俊治郎(北北口) 伊藤久雄(黒七) 千葉ワカ子(湯ノ又) 沢田石栄之助(湯ノ又) 小玉文雄(小川口) 松橋正之助(浅見内) 松橋功(浅見内) 千葉栄子(小倉) 小熊昭太郎(大川一區) 嶋崎喜助(大川二區) 八柳久一(大川三區) 小熊清治郎(大川四區) 嶋崎誠悦(下樋口) 伊藤藤一郎(石崎) 小玉博(西野)

広ヶ野橋いよいよ着工

町では田町から五城目第一中学校にいたる町道にかかる広ヶ野橋を、当町で開かれる交換会まで永

久橋にする架替工事を完成させるため、入札を七月四日に下部工事六日に上部工事をそれぞれ行なうた。

みのりのポスト

県知事への手紙です。みなさんからの意見、要望、苦情などをおききし県政に反映させようとするもの。

町民室に料金受取人私制のハガキをそなえてありますからご利用ください。

町民室へ「家の光」寄贈

農家に親しまれている農業専門誌「家の光」が、七月号が農協から町民室に六、七月号が寄贈され好評中、これはこのあと毎号町民室に贈るとのこと、来庁の折はどうぞ！



暮しのノート

暮しのノート

十年年金継続の

加入は早目に

国民年金では、明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までの間に生まれた人については昭和四十六年四月に十年の被保険者期間を満たすことになり、いよいよこのかたがたに對する老齢年金(いわゆる十年年金)の支給がはじまります。

この十年年金制度は、制度発足時に任意加入であったため、途中でやめた人もいますので、この際途中で脱退した人にも、制度発足時から加入していた人と同様に十年年金を支給しようとする趣旨で再び年金を継続させることにしました。

この十年年金を継続することのできる人は、次のすべての条件を満たしていなければなりません。
① 昭和三十六年四月一日に国民年金に任意加入した人で、任意加入後に被保険者の資格を喪失していること。
② 厚生年金保険、船員保険各種共済組合など他の年金制度の被保険者や組合員でないこと。

に全力をそそがなければならぬ時期ですので、次の事に努力しましょう。

農事メモ

◎ 八月の天気予報

月初めは暑い、その後暑さは長続きせず、後半は涼しい日があるが、一般的に温度は平年並か、やや低めと予想されます。また中旬から下旬大雨とともに二個位の台風が本土に接近、または上陸するものと予想されるので今後の稲作管理は充分注意して下さい。

八月は稲にとっても大切な時期で一種着粒数及び登熟歩合の向上

他の年金制度から老齢(退職)年金をうけていないか、またはうける資格期間を満たしていないこと。
十年年金を継続するには、昭和四十五年七月一日から九月三十日までの三ヶ月間に役場窓口に参加したい旨申出ください。
再び加入することが認められずと、再び加入する前の期間で、国民年金や厚生年金保険などに加

「花火遊びによる事故をなくそう」

花火遊びによる事故は、夏を迎えるといつそうふえる傾向にあり、そこで、夏の夜の楽しい花火遊びから事故をおこさないよう、つぎのことについて注意してください。

① ロケットや三連発などの筒物花火には、使い方や注意事項が書いてありますので、よく読んで使用方法を誤らないように。
② できるだけ、おとなが一緒に遊んでやり、風の方向や残り火のあと始末などをよくする。

なお出穂期以降の砒素剤散布は、薬害や穂発芽のおそれがあるので、下げて下さい。

三、ニカメイ虫 今年例年より多目と予想されるので、第二世代の発蛾最盛期(七月三十日から八月二日と予想)前一週間を目安に十分防除すること。

四、ウンカ 場所により、大発生する所があるので、発生の前例がある所は充分注意すること。

五、休耕田の雑草を防除しましょう
休耕田に雑草をはやすと、病害虫の伝染源となるので除草を行うこと、なお防除方法及び薬剤等については、農協指導員など

入していなかった期間一カ月につき四五〇円を納付することになります。
この納付が行なわれると、その期間は保険料納付済期間となつてこの保険料納付済期間と被保険者としての期間にかかる保険料納付済期間が十年に達したときに年齢年金の支給をうけることができるようになります。

素足の手入れ

素足の美しさは、まず清潔が第一、一日何度でも石けんでよく洗って下さい。ツメが汚れていたりすわりだこができていたのでは幻滅です。洗ったあとはコールドクリームで、顔と同じようにマッサージしたり、顔など黒々していたら、パツクすることをオススメします。足の手入れは、手や顔にお化粧するくらい気を配ってほしいものです。足が太いとかまがっているとかばかり気にしていて、清潔にすることを忘れてはいけません。

と相談の上使用して下さい。
◎ 稲の姿勢を整えよう
日射の十分当る様な姿にする。これには、根の働きを持続させ、おそくまで養分が吸収される状態にすることが大切である。また追肥は良質米の生産から稲の成長状態をみて行うようにして下さい。

◎ 適正な水管理を
八月上旬は、穂ばらみ期に入り特に水分を多く必要とする時期であるから、絶対に水を切らさないようにすること、またこの時期は低温に最も弱い時期であるので適

◎ 食生活の設計をたてよう
夏はとかく暑いため、食欲が進まなくなり、夏やせの原因にもなります。秋の刈り入れ時期を迎えて、体力増進のため、栄養のある食事をする様につけたいものです。お互いに食生活の設計をたて夏まけしないようにつとめましょう。

農業指導センター

種苗交換会をきれいなおらが町で

十一月六日から一週間
にわたって開催される、
第九十三回秋田県種苗交
換会を迎えるに当って、
町の環境をきれいにし
ておきたいものです。

まず積極的に清掃デ
ーの制定をはじめとして
町内に花いっぱいと考え
た「花壇」づくりの推進
をはかり、消極的な面
になると思うが最近問題
の多い、河川などへの汚
物の不法投棄を排除し
て、山と川のある町のよ
さを守りたいのです。

それをなすにむか
うには関係行政の配慮
もとよりですが、住民一
人の心にして行動に
環境美化の意欲がも
えなければならぬと思
います。

きれいなあたたい環
境で意義深い種苗交換
会が行なわれるよう、お
互に懸命な努力をいた
します。

のです。
— みんなでみよう交換会
みんなにみせようおらが町 —

種苗交換会協賛会 「各部会」動く(4)

第九十三回秋田県種苗交換会の
受け入れ準備で、協賛会各部門で
は具体的準備に入っている。

● 接待部会

七月十八日(土)午前十時より開
き
▽米賓等の接待
▽会場等の案内
▽宿泊案内
▽無料休憩所
▽旅館飲食店等の料金
▽商店等従業員サービスの向上講習会等につ
いて話し合いをし、更に案内等に
協力してくれる社教団体の四十四
人とともに、接待・案内の完全を
期することにした。

● 経理部会

七月二十七日(月)午後三時十五
分より開き▽予算収入の見通し
▽歳出の適正化
▽使用伝票の種
類と様式
▽決裁区分と方法

農道を整備して車で田圃へ

農家の人達が、田圃の管理のた
めに毎日往復する農道を整備して
車で田圃へ廻れる状態になつたら
農村は一層魅力的になることでし
よう。

農道を整備するための補助制度
がありますのでお知らせします。
受益関係者又は、部落内等で機会
あることに話し合つて農道の整備
に意欲を燃してください。

◆ 農道整備事業の補助制度に ついて

- (一) 団体営事業
 - ① 受益面積二〇ヘクタール以上
(山振指定地域は一〇ヘクタール以上)
 - ② 延長一、〇〇〇米以上(山振指
定地域は五〇〇米以上)
 - ③ 幅員四、五米以上(急傾斜地は
三米以上)

▽支払い方法
▽資金の繰り入れ
繰り出しについて
▽取り扱ひ金
融機関
▽使用諸帳簿の種類と様
式などについて話し合いし、予算

夏期に多発する食中毒を防ごう

食中毒予防週間(八月五〜十一日)

町民の食生活は、食品衛生思想
の普及とともに改善され、町内での
食中毒は昨年は一件もなかったとい
いながらも、五城目保健所では、
食中毒が多発する時期にそなえつ
ぎのこを実践してほしいといつ
ている。

一、手洗い励行

食中毒予防上手洗いの重要性を認
識するとともに、とくに調理前、
用便後の手洗いを励行する。

二、たべもの衛生

① たべものは、なるべく加熱し
なま物はできるだけさけるよう
にする。

内容の適確性と執行の厳正を期す
ることとし、各部と合わせて種苗
交換会を迎える十二分の態勢がた
めに入った。

県政モニターに 六氏委嘱される

昭和四十五年度の県政モニター
(県政について意見を提出する人)
にこのほどつぎのかたがたが県知
事から委嘱されました。
斎藤クニ(館越) 松橋勘一(浅見
内) 大石フサ(上山内) 加藤千雄
(新町) 大村仙福(仲町) 伊藤弥
一(町村)

工事進捗状況一覽

七月三十日現在

- ④ 殺虫剤、殺そ剤などの薬品の
保管に注意する。
 - ⑤ 設備などを衛生的に改善する
- ▽入通沢林道 (六月十七日着手) 三四%
 - ▽久保頭首工(三月一日着手)
継続事業 五〇%
 - ▽関ヶ沢下刈 (六月二十三日着手) 六〇%
 - ▽小川口下刈 (六月二十三日着手) 二〇%
 - ▽保呂瀬下刈(六月二十一日着手)
七月二十日完了
 - ▽広ヶ野橋水道管パイパス工事
(七月一日着手)
七月二十九日完了

◆ 舗道農装事業の補助制度に ついて

- ④ 農道橋架替有効幅員三米以上永
久的な構造のもの
 - ⑤ 負担区分国庫補助五〇%、受益
者五〇%⑥申請時期 町に対す
る希望申込みを前年の八月中に
- (一)、単車事業
 - ① 受益面積五ヘクタール以上二〇
ヘクタール未満
 - ② 延長三〇〇米以上
 - ③ 幅員二米以上
 - ④ 負担区分県補助二〇%、市町村
補助一〇%
 - ⑤ 申請時期 町に対する希望申込
みを前年の八月中に

八月八日から九日本町で

第二十四回全県青年体育文化祭

五連青役員 選手団を結成

八月八日から九日の二日間、秋田県連合青年会では第二十四回全県青年体育文化祭を本町で開催する。体育の部は五城目五城目高校グラウンド・体育館を中心に、又文化の部は五城目小学校を会場として全県下に働く青年が一堂に集い、これを通じて青年相互の連帯感を強め、組織の充実強化を図り、健康で文化的な豊かな明るい郷土社会の建設に役立つと開催されます。

種目別会場は、陸上は五高グラウンド、バレーボール男子は五高体育館、女子は五城目中体育館、柔道は旧馬川小体育館、卓球は五高旧体育館、すもうは八郎潟中学校すもう場、剣道は旧馬川小体育館、バスケットボール男子は八郎潟中体育館、女子は大川中体育館、芸能文化は意見発表会五城目

小学校でそれぞれ開催される。このように大きな大会が本町で開かれるにあたり、五城目町連合青年会では体育の部においては七月の五日日本町青年体育大会、また七月十九日は本町青年文化の集いをそれぞれ県大会予選を兼ねて行ない、七月五日の体育の部の予選会と十九日の文化の部の審査の結果で次のとおり、五城目町連合青年会の役員団、選手団を結成し昨年に引き続き二年連続総合優勝をめざしており注目されます。

役員団

(団長)小玉郁夫(副団長)石井忠光(総監督)伊藤敏雄(総務)佐々木藤男、伊藤正春、佐々木久米雄、小玉恵一、佐々木恵美子

監督(陸上)

伊藤敏雄、(男子)伊藤義男、(卓球)宮城正一郎、(相撲)石川清悦、(柔道)近藤礼蔵、(剣道)清水三男、(演芸)意見発表会、石井勝博、(郷土芸能)小玉賢一、(生活文化)大石正夫、(バスケットボール)館岡昭雄

選手団

伊藤正春、長谷川喜晴、川村勉、田口清、一関錠、荒川達雄、大石隆夫、猿田悦雄、伊藤誠、加藤勲、湊祐次郎、伊藤重雄、工藤喜代己

石井忠光、千葉幸四郎、小玉輝雄、伊藤徳雄、松橋肇、石井三和子、石井ミネ子、加藤節子、石井久子、島山トシ子、伊藤幸子、小玉トシ子、工藤スズエ、小玉啓子、竹田勇子、伊藤誠子、工藤清子、館岡和春、一関忠、小玉喜美雄、伊藤守

阿ワ十八点・その他三二点が出品された。この年は「秋田県勸業年報」が刊行され、十二月には郡制が施行されて郡夜役が発足、秋田郡が南北二郡に分けられて、十三年(一九一八)十一月十日種子交換会を第一回種苗交換会として開催した。出品者一七五三名交換希望者七三三七名という今でも想像がつかぬ程の盛況だった。交換会が本町で開催された大正十二年(一九二二)は、わが国にとっても歴史的な年だった。農村不況といわれていた九月一日関東地方を大地震がおそった。東京は潰滅した。恐ろしいうわさが遠いこの町にも次々に届いてくる。また

谷研逸、高橋真一、草皆清光、新藤真悦、館岡幸雄、伊藤正美、武田信一、佐々木茂(女子)、一関三重子、今村れい子、加藤式子、渡柳和子、伊藤啓子、伊藤啓子、八柳綾子、佐川文子、石井ミサ子、一関冷子、島山悦子、小熊優子、卓球は石井三也、工藤耕一、石川和夫、小野光子、湊久美子、佐々木エリ子

相撲は工藤卓美、石井久右工門、石井康昭、金三男、佐藤一衛、佐藤光儀

柔道は金野正志、伊藤和夫、佐藤政志、石井康昭、和田喜一、剣道は柳原善太郎、渡辺善孝、近藤芳雄、小玉三郎、佐藤隆二、バスケットボール(男子)小玉喜美雄、館岡吉一、館岡政美、島山孝則、石井正美、猿田育蔵、本間忠雄(女子)小熊トト、金子栄子、小玉ケイ子、小野貞子、猿田千代子、藤田美和子、館岡和子、竹田克子

演劇は畑沢かち子、沢田行栄一、小玉恵子、沢田行栄子、沢田行吉雄、畑沢信次、沢田行貞子、小玉英己、工藤良春、松橋勝子、佐藤真悦、伊藤良春、畑沢美恵子、郷土芸能は佐藤勝彦、金子新一、小玉賢一、小玉義男、佐藤一郎、金子久高、千田善男、佐藤輝美、藤子登、広藤総、加藤悦重郎、佐藤良治、大橋太郎

生活文化展は火行美恵子、伊藤律子、小玉恵子

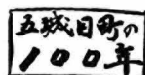
意見発表会石井勝博、石井妙子

行政組織がかわり第一回の年始まった郡制が四月一日に廃止となった。郡内天王町追分では、海山徳治郎等がナシ・ブドー・スイカを砂丘地にうえはじめたものこの年である。新に奨励品種に日吉と陸羽四二号が採用されている。ついでに大正年間の特奨励品種をあげておこう。

大正三三三(関山(大13まで) 福島(大14) 庄内(大7)) 豊国七一七(昭14)

八八細穂一七号(大9) 十二号の新品種は陸羽一三二号 日吉・大正金子・東郷三号である

× × × (この項つづく)



22

種苗交換会開かれる(1)

小野 一 二

短い大正時代の終りに近い十二年、町の歴史で最大のイベントが開かれた。第四六回種苗交換会である。

種苗交換会の始まりについて少し書しておく。明治五年県は勸業課を設けて農業振興につとめようとしたり。時の県権令島義勇は八郎潟開発を企てるなど、大きな夢をもっていたが、勸業課の発足もその夢の具体化の一つだ。この課

の牧畜係となって二才の石川理紀之助が豊川村から出仕している。明治九年石川等勸業課員が中心となって「勸業議會」がつけられ

次第に全県的な農業団体組織となつていった。そして多分この団体が中心となつて開かれたと思われ